

目黒区障害者自立支援協議会のイベントに係る実施意向調査

調査内容

令和5年2月16日に開催した令和4年度第3回目黒区自立支援協議会本会議において、自立支援協議会イベントの実施について、次のような意見がありました。

- ・他事業所の方々と顔が繋がった点がよかった。
- ・他事業所と繋がりを持つことで、初めて聞けるような情報もあった。
- ・バージョンアップを図りながらできる範囲で行っていければよい。

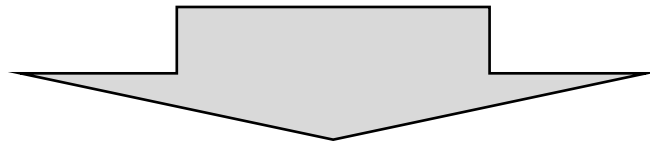
これを踏まえ、令和5年度における自立支援協議会イベントの実施について、ご意見を下記にご記載ください。

令和5年度における自立支援協議会イベントの実施について、ご意見を下記にご記載ください。

●設問1 イベントについて当てはまるものを丸で囲んでください。

- ① 前年度同様「めぐろふれあいフェスティバル」でブースを設置する方向で検討する。
- ② イベントは実施するが、①以外の方法で実施する。
- ③ イベントを実施しない。

※②を選択した場合は設問2を、③を選択した場合は設問3をご回答ください。



集計結果 全7部会が①を選択した。

<寄せられた意見>

- ・パネル展示などは、素通りされることが多く、区民の関心の薄さを感じた。
- ・パネル展示に興味を持たれないのは、情報量が多いこと要因の一つなのではないか。キャッチコピーのように情報量を少なくし、そこから興味を持ってくれた方に対してロールプレイ等により説明やアピールをしていく方が良いと感じている。
- ・障害に気が付いた時の苦悩や落ち込みから立ち直るステップとなるきっかけのエピソードなどをブースで支援者交えて伝えていただく。（当事者理解を分かりやすくアプローチする）
- ・事業所で働く人が参加しやすい配慮があるとよい。
- ・区民を集めることも大切であるが、その前に関係者を集めることが重要である。